

公益社団法人 日本技術士会 男女共同参画推進委員会
第46回技術士全国大会(四国・徳島)男女共同参画推進連絡会議開催報告

1. 開催概要

- ・日時：2019年10月5日(土)
第1部：13:30～15:00、第2部：15:00～16:30
- ・場所：第1部：あわぎんホール会議室5(徳島市)、第2部：寺町散策
- ・テーマ：技術サロン10年間の総括と今後に向けて
- ・主催：公益社団法人日本技術士会 男女共同参画推進委員会
- ・協力：徳島県技術士会女性部会
- ・参加者：第1部：22名、第2部：19名
- ・プログラム：
第1部 13:30～15:00
 - (1)挨拶と開会趣旨
日本技術士会男女共同参画推進委員会 委員長 石田佳子
 - (2)ミニ講演 13:35～14:00
 - ①「技術サロン10年の歩み」
日本技術士会男女共同参画推進委員会
女子学生・女性技術者支援小委員長 笹尾圭哉子
 - ②「阿波なでしこ技術サロンを開催して」
阿波なでしこ技術サロンメンバー 大寺礼子
 - (3)自由討論 14:00～15:00
 - (4)第1部閉会挨拶 日本技術士会理事、男女共同参画推進委員会副委員長 林 雅弘
- 第2部 15:00～16:30 寺町散策と今後の展望についての語らい

2. 内容

(1)開会挨拶

男女共同参画推進委員会委員長の石田より、「技術サロンを始めて10年余りが経過した。多くの女子学生、女性技術者の参加を得て、有意義な活動となっている。地域本部や県支部、統括本部それぞれの活動状況を共有し、意見交換をしたいと」の開会挨拶と、本会議に参加されていない地域本部からも関連する最近の活動状況など情報をいただき、配布資料に掲載したことを報告した。

(2)ミニ講演

①技術サロン10年の歩み：笹尾圭哉子

統括本部の活動を中心に、技術サロンの目的・経緯・成果、及び、技術サロンの声(質問や相談)の紹介を行った。

技術サロンの参加者は、JABEE課程や理工系女子学生を対象としていた初期(第1～10回：学生77.0%、社会人23.0%)に比べ、近年(第31～40回：学生17.9%、社会人82.1%)は社会人が多くなっている。

主な成果は、約400名の参加者のモチベーションアップと技術士資格の広報、技

術サロン報告書や Q&A 集の作成、女性技術者育成への提言、「キャリアモデル集」の発行などがあげられる。

参加者の質問や悩みを一人ひとり表明し意見交換する現在の方法は、情報共有の面からは大きなメリットがある一方、技術サロンの参加者からはもっと自分の話を聞いて欲しかった、との意見も出ている。「参加者の満足度の向上」が課題となっている。

今後に向けて、各組織が抱える課題を共有し持ち帰ってそれぞれの活動に活かそう、との提案となった。

②「阿波なでしこ技術サロン」を開催して：大寺礼子

- ・徳島県技術士会女性部会による「阿波なでしこ技術サロン」について、平成 27 年第 1 回の開催に至る経緯とこれまでの活動状況、「ワールドカフェ」方式にて実施しているグループワークについて紹介があり、子供達や進路指導の先生を対象としてイベントなど、今後の方向性について説明があった。
- ・現在は女性のみで運営している。
- ・今後の活動として参加者と一緒になったイベント（参加者を主催者に巻き込む活動）がある。

(3)自由討論

- ・自由討論の中で、中国本部より参加された男女共同参画推進委員会委員長北浦直子氏より中国本部の活動紹介、委員の小野朋子氏より岡山県支部の活動紹介があった。中国本部では呉工業高等専門学校の女子学生と女性技術士の懇談会や青年技術士交流委員会主催の理科教室への参加、修習技術者を対象とした研鑽セミナーへの参加を実施している。岡山県支部では、県内の企業に勤務する技術系の仕事を行う女性や、技術士に興味をもつ女性を対象に「おかやま女性技術者交流会」を主催している。
- ・統括本部は、初期のころ「男性上司は女性技術者をどのようにみているか」などの質問を受け、男性技術者に講演してもらった。現在、委員会の委員は男性もいるので男性委員からも多角的な意見が出されている。
- ・配布資料の活動紹介にもみられるように、地域本部では青年技術士会や近隣の高等専門学校との連携がある。中国本部、岡山県支部などはリピーター率が高い。青年委員会との交流や支部を巻き込んだ広報の力が大きいと思われる。
- ・課題として参加者の満足度の向上をあげた。自分たちの満足も大事だがそれが自己満足にならないよう気を付けたい。
- ・阿波なでしこサロンでは、「必ずしも解決策、解答でなくてもよい」との方針がある。統括本部も同様であり、自分たちの事例やアドバイスはあくまでも参考。最後は自身で解決してほしいという想いがある。
- ・農業系では、女性が増えている。技術サロンのような取り組みは必要である。

その他、困った質問の紹介や、参加者全員から日頃の活動や問題意識など、自由闊達な発言があった。

活動案内（資料参加）：九州本部、東北本部、北海道本部

(4) 第1部閉会挨拶 林担当理事

男女共同参画推進委員会の担当理事の立場から、関係者全員で10年間築いてきた、技術サロン及び男女共同参画のブランドをこれからも活かして欲しいと挨拶があり、第1部を終了した。

(5) 第2部「寺町の散策と今後の展望についての語り」

第2部は徳島県技術士会女性部会の企画により、「とくしま観光ガイドボランティア会」の平岡様、野沢様に東洲斎写楽及びモラエスのお墓など寺町を案内いただきながら歴史に触れた。また、今後の活動についての意見交換を行った。



写真：第1部の様子



写真：第2部の様子

記録作成：林雅弘、石田佳子